

7) 教育学部の組織的な FD 活動の学生へのフィードバックと学生の大学・教育学部に対する要望等について

教育学部では、各学期後に、学生による授業評価結果をうけ、教員個人単位として「教員による授業点検シート」に改善点を明確にし、公表するように努めている。これは教育学部教員として、個人個人が自己の PDCA サイクルを確立・機能させ、授業改善を行うためである。本学部では、さらに学部全体として必要のある教養教育の授業科目について、例えば教養教育の目玉として配置した忍ヶ丘教養 I～IV について、FD 委員会として、学生による授業評価をうけ、授業点検を行い幾つかの改善を行っている。また、本学部では、前・後期の所定の時期に、アドバイザー教員が学生に対して、それぞれ個別指導を実施するが、後期の中間の時期には、各学年の学生全員を集め、全体としての学業成績から事前・事後学習等に関する指導・助言を行っているが、この機会を利用して教育学部における教員個人及び組織的な FD 活動等についてフィードバック・説明している。なお、この機会は学生からの大学・学部に対する要望等をくみ上げる懇談会としても機能させている。

1) 1 年生を対象とした教育関連事項のフィードバック、指導・説明及び懇談会

- ・参加者：1 年生全員（34 人）
- ・開催日：平成 29 年 2 月 6 日（月） 14 時 40 分から 30 分間
- ・講師・報告者：1 年生アドバイザー教員：守川美輪准教授・山下智也准教授
- ・概要：教育学部 1 年生を対象に「平成 28 年度の状況を総括し、平成 29 年度に向けて」として、（1. 平成 28 年度前期の学業成績、2. 平成 28 年度後期の振り返り、3. 履修カルテ、4. 教育学部の組織的な FD 活動、5. 3 年後の自分のイメージをもつ、6. 春休の過ごし方、7. 懇談会（要望があれば・・・）を開催した。

1. 及び 2. に関連して、学生には GPA3.5 以上を目指す意味や学長賞（GPA3.8 以上で受賞）のこと、入学後学習面で困ったことについて予めアンケートを実施し、各自が学習スタイルを確立することが成績アップ及び教員採用試験の現役合格につな

がることを説明した。また、履修カルテについて、その意味・目的を説明した後、今後学期ごとに自分の振り返りとして提出を求めることを説明した。4. に関連して教育学部の組織的な FD 活動を説明した。また、春休等の休業中の過ごし方を説明した後、懇談会として学部・大学に対する要望等があれば、この機会あるいは後日アドバイザー教員・学部長へ申し出ることを説明した。

2) 2年生を対象とした教育関連事項のフィードバック、指導、説明及び懇談会

- ・参加者：2年生全員（37人）
- ・開催日：平成29年2月3日（金）、12時から30分
- ・講師・報告者：2年生アドバイザー教員：相戸晴子准教授・渡邊耕二准教授
- ・概要：教育学部2年生を対象に「平成29年度に向けて」（1. 1年次前期から2年次前期までの学業成績、2. 卒業後の進路の積み重ね、3. 教育学部の授業改善について、4. 懇談会（要望等があれば・・・）を開催した。

1. 及び2. に関連して、学年全体・個人単位の GPA の折れ線グラフで入学後の GPA の推移を説明し、GPA の数値目標として、3.0 以上を目指す意味を確認した。また、3. としてこれらの積み重ねが最終的に教員採用試験合格につながることを説明した。また、授業外学習のアンケート結果から、平均の授業外学習時間が1日1～2時間程度となっていることから、さらに自学自習に励む必要があることを指導した。2年生の教科・教職ゼミ、教員採用試験対策講座への出席状況や夏季合宿について説明し、本学部が教員採用試験合格の対策として準備しているゼミ・講座への参加を勧めた。3. に関連して、教育学部の組織的な FD 活動を説明した。特に、算数科指導法の授業における授業評価結果から本授業における改善点を説明した。最後に、懇談会として学部・大学に対する要望等があれば、この機会あるいは後日アドバイザー教員・学部長へ申し出ることを説明した。

3) 3年生を対象とした教育関連事項のフィードバック、指導、説明、及び懇談会

- ・参加者：3年生全員（26人）
- ・開催日：平成29年2月27日（月）
- ・講師・報告者：福田亘博教授
- ・概要：教育学部3年生を対象に「平成29年度に向けて」（1. 授業外（自宅）学習について、2. 現段階における学業成績について、教育学部における授業改善、4. 懇談（要望等あれば…））を開催した。特に、3年生は、来年度7月中旬には教員採用試験を受験することになることから、受験日までしっかりした計画を立てて、苦手科目の克服し、教員採用試験等合格を目指し、研鑽・頑張ることが肝要であることを説明した。最後に懇談会を開催し、学生の希望等をくみ上げるようにした。

1. に関連して、授業外学習について3年生に進級後教員採用試験合格に向けて学習時間が増え平均で2～3時間となっていること、ディプロマポリシーの修得に向けて、あた業者が主催する模擬試験における判定結果（A～D判定）から、各自振り返りを行い、さらに計画的に勉強することが必要であることを説明した。さらに、教員採用試験合格に向けた対策講座の受講で、弱点となっている科目について強化することなども併せて説明した。また、3. に関連して、教育学部の組織的なFD活動を説明した。最後に、懇談会として学部・大学に対する要望等があれば、この機会あるいは後日アドバイザー教員・学部長へ申し出ることを説明した。